

科目名		授業形態	担当教員名	
生理光学Ⅱ		講義・演習	荒木 渚	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
これまでに学修した屈折異常の知識を更に深めるとともに、調節との関係を理解することを目的とします。また、調節異常である老視の矯正を行えることを目的とします。				
授業の到達目標				
①不同視と不等像視の関係を説明できる。 ②調節力の計算や、遠点・近点・明視域の位置を求めることができる。 ③調節力に応じた近用眼鏡度数の選択ができる。 ④授業範囲に関連する国家試験の問題を解くことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	復習プリント（屈折異常）			
2	復習プリント（プリズム）			
3	不同視			
4	不等像視の検査			
5	屈折度と遠点			
6	調節、明視域			
7	眼鏡装用時の遠点・近点・明視域			
8	老視			
9	調節検査【演習】			
10	近見視力検査			
11	近見視力検査【演習】			
12	近用眼鏡①			
13	近用眼鏡②			
14	頂間距離補正、みかけの調節力			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
目でみる 視力・屈折検査の進めかた 第2版増補		所敬 他	金原出版	
視能学エキスパート 光学・眼鏡 第2版		松本富美子	医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
屈折異常とその矯正 改訂第7版		所敬	金原出版	
備考				